

くつころ姫騎士の

快楽アへ堕ち あまは調教

男が産まれない異世界へ
召喚された俺がヒロインを
充てがわれて子作りエッチ2

漫画
針金紳士



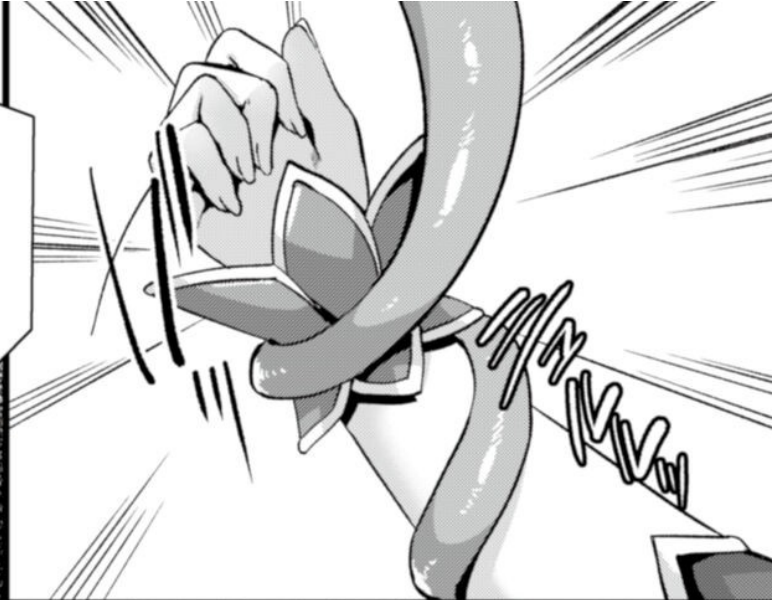
りふれほコミック

R18
成人向け
MANGA
18+ ONLY
ILLUSTRATION



放せ…っ!!

しまっ…!!

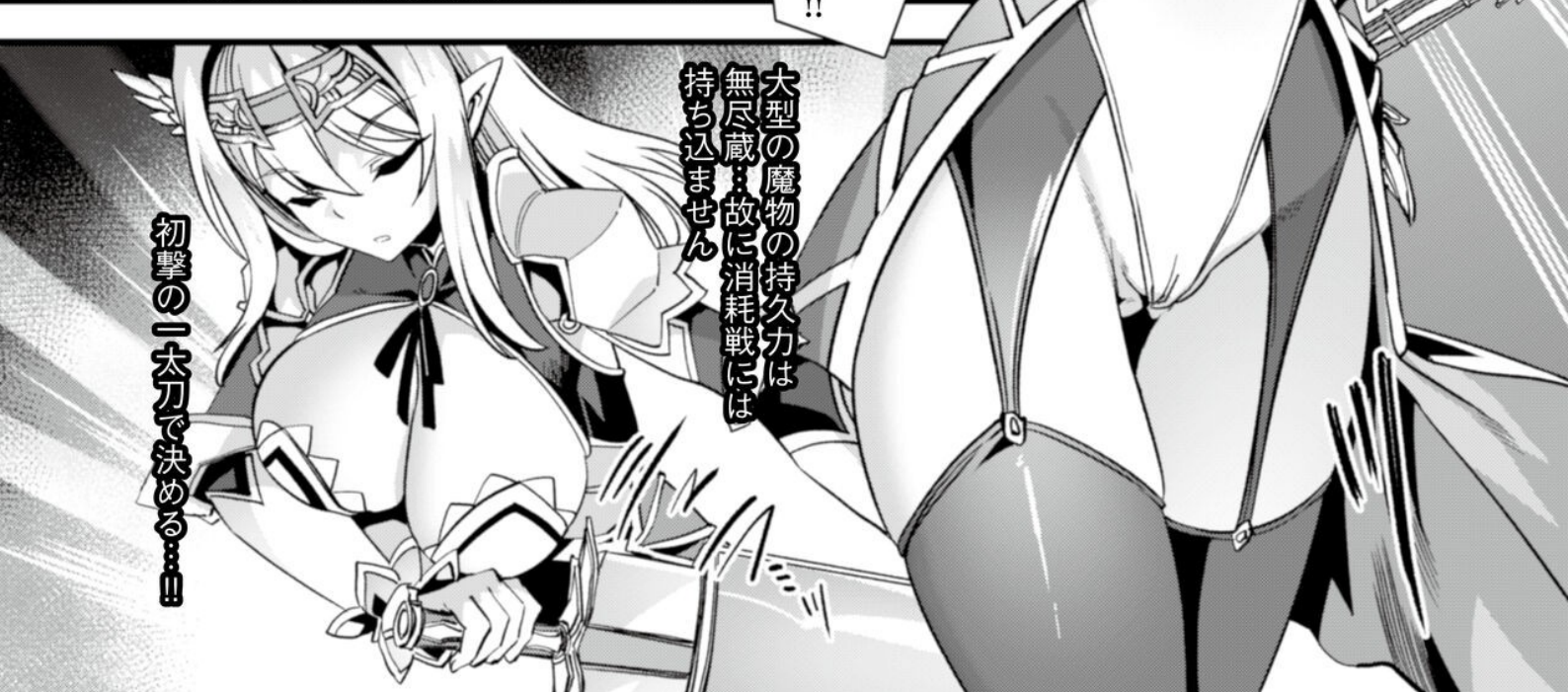


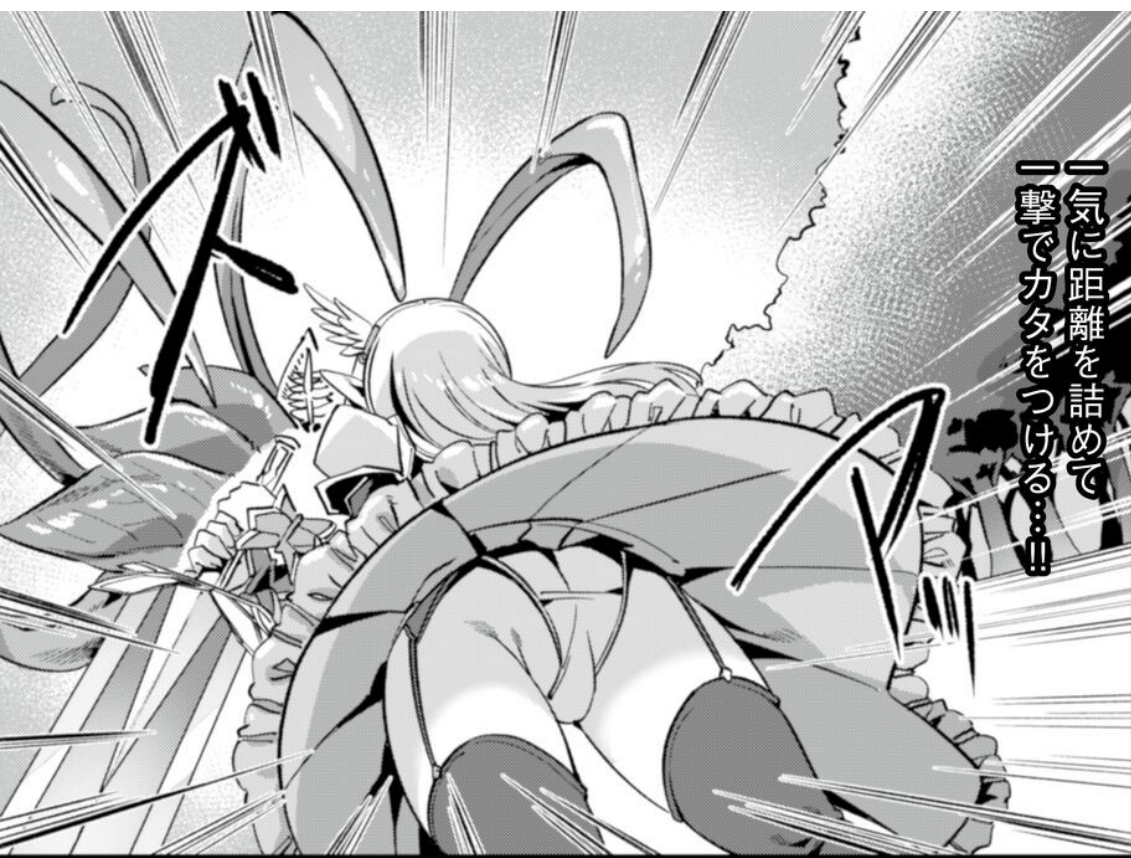
くっ…!!

このような
格好…!!

やめろ…!!

やめろ…!!





一気に距離を詰めて
一撃で力タをつける…!!



各部隊
掃討は完了したか？

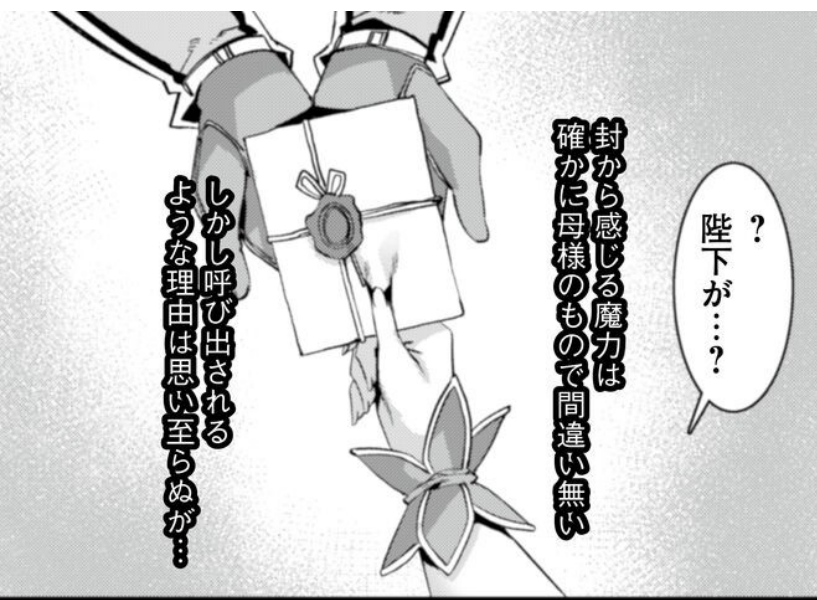
はっ!!
展開中の全隊
交戦終了しました



よし
では被害状況
確認次第撤収だ
準備急げ!!

リコッタ様!!







ええ
今説明した通り
王家の血を絶やさぬためには
これしか方法はないのです



わ…私がこの少年と
子作りですか…!?



しかし…っ
異世界の救世主
とはいえまだ子供では
ありませんか!!

子供…

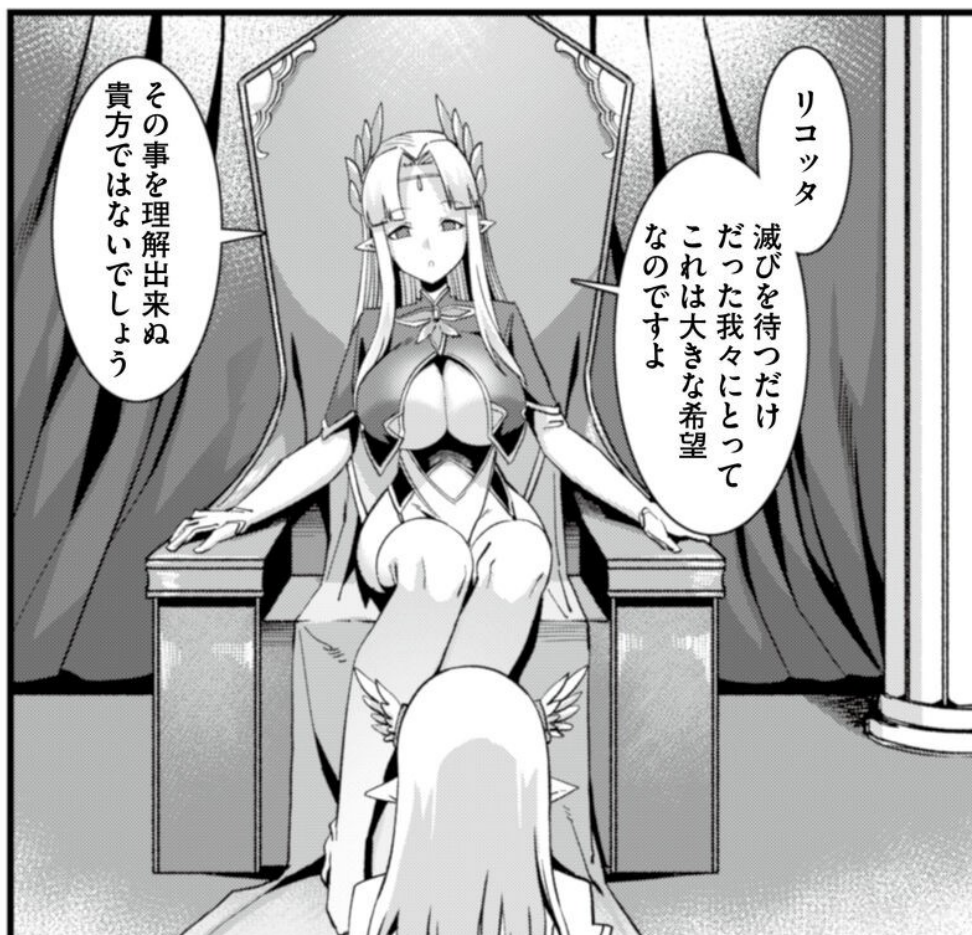
既に二人とメイド
数人の懐妊は確認
しています

実績としては
十分でしょう



くっ…
それは…

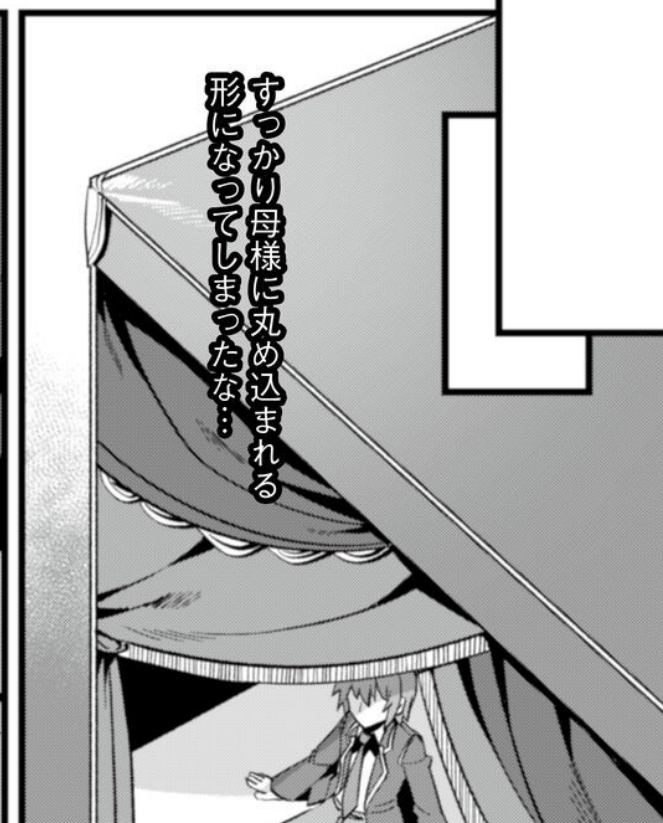
はい…
わかりました…



リコッタ

滅びを待つだけ
だった我々にとって
これは大きな希望
なのです

その事を理解出来ぬ
貴方ではないでしょう





此度の事はやはり
無かった事に…

ダメです!!



救世主殿

先程は陛下の手前
ああ言ったが

私は私が認めた者にしか
身体を許さぬと決めている



くっ…っ!!!
読まれていたか…

リコッタ様はご自分が
お認めになった相手なら
良いんですね?



…ん?
そうだな

私を打ち負かす程の
者ならば吝かではない
とは考えている



リーシャ…!
ミーシャも…!?

リコッタ様なら
そう言い出すだろうと

見張りにつくよう
陛下より言付かって
おります

ではリコッタ様
ご主人様と勝負を
してみませんか？

勝負だと…？

リーシャさん
流石にそれは…

内容はご主人様にも
平等なルールで
行います

これから三日間
リコッタ様にご主人様と
性行為無しでの調教を
受けて頂きます

もしもおご主人様を
お認めになればそのまま
子作りをして頂きます

三日でリコッタ様が
お認めにならないよう
であればリコッタ様の勝利

ご主人様から直接
此度の件を見送るように
女王様に進言頂きます

えっ

ふざけたルールではあるが
救世主殿の進言であれば
母様も無視する訳にくまい

…良いだろう

その勝負
受けよう

まあこの少年が相手ならば
それほど脅威にはなるまいしな

ええっ



おつかなびつくりと
表面を撫で回すばかりで

随分とゆつくりとした触り方だ
これならば三日かかっても
どうにもなるまい——

ん……♡

ごめんなさい！

痛かった
ですか？

い……いや
問題ない

いかにいかに……！！

不意打ちの刺激に
つい変な声が
漏れてしまった……
気をつけねば……

くっ……しかし
じわじわと焦らすように……
先程少し触られたからか
もどかしい気持ちに
なってしまう……

ちよっと触っただけで
こんなに……リコッタさん……
どうして堂々と
勝負を受けたんだろう……？





さっきの余韻が残ってるせいか…!!

またこんなにも
簡単に…っ

ちゅっ♡

—— ツ♡♡



大丈夫ですか？
少し休憩しましょうか

も…
問題ない…!!



今そこを触られたら…



だ…だめだ…っ



そうですか？

なら…



マズい...
どんどんいくまでの
間隔が短くなって...



わかりました

...すまない...
やはり少し休憩
させてくれ...



...おっ
イッてるのに...
むしろ責めが激しく...

まっ...
待ってくれ!!



じゃあ休んでる間…

ミーシャさん
少しいいかな？

！

はい
喜んでお相手
致します

お二人を見ていた
だけで私ももう…♡

はー♡

準備は出来て
おりますので…♡

とろろ♡

わ…♡♡

お♡

ちやあんと見ていて
下さいね

ご主人様と
ミーシャちゃんとの
セックス♡

リコッタ様

な…一体何を…
まさか…

な!?

そ…そんなもの
見ていられるかっ…!!

だめですよ
リコッタ様

休憩中でも勝負の
うちなのですから

よく見て
想像して下さい

あの少年が…
こんなに凶暴なものを…!?

ご主人様の
おちんちんがご自分の
膣内に挿入ってくるのを

ほら

ゆっくりと奥まで
挿入っていきますよ…♡

あんなもので貴かれたら…
一体どうなってしまうんだ…
くっ…こんなことを考えていると…





くっ…昨日はあんなものを見せられたせいであまり眠れなかった…

今日は一体何をされるのか…警戒せねば…

リコッタさーん
入っていいですかー？

…む
入ってくれ

おはようございます

今日もよろしく
お願いしますね

三人とも何かを抱えているが…
何を持ってきたんだ…？

あ…ああ

私室の結界内に持ち込めている
以上は危険物では無いようだが…

…その手にある
ものは何だ？

昨日は準備を
特にしなかったの

今日はもう少し
楽しんで頂けるように
色々と用意しまして

ふん…道具に頼るか…
しかし気を引き締めねば…



昨日でそれが分かった
以上もう油断は無い！

見た目は頼りなさげな
少年だが…普段メイド達を
相手にしているだけあつて
随分と手慣れているようだ…



それじゃあ
ベッドに仰向けに
なつてもらえますか？

…わかった

まあ…何をされようと
あと二日耐えればいいだけ…



じゃあ
薬液を塗って
いきますね

それは…？

リラックス効果の
ある魔法薬です

昨日はまだ身体が
緊張されていて

十分に気持ちよく
なれてなさそう
だったので



こんなものを塗られた
だけで何かが変わるとは
思えないが…



熱かった
ですか？



温かくて粘り気のある液体が
身体に絡んでくる…

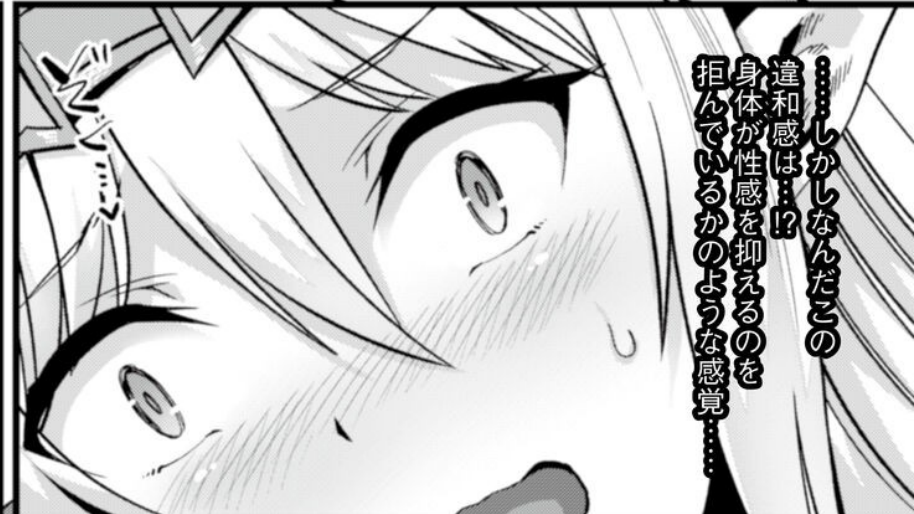


薬液を塗り込みながら
また昨日のように焦らすつもりか…!!

だが…もう昨日のようには
いかんぞ——



こんな状態でもし
敏感なところを触られでも
したら——



……しかしなんだこの
違和感は…!?
身体が性感を抑えるのを
拒んでいるかのような感覚……



な…何だ今の衝撃は…!!

リコッタさんは
身体の感度自体は凄く
敏感みたいなんです

昨日はイくのを我慢し過ぎて
あまり気持ちよく
なれてないみたいだったので

さっきのオイルで
心身の緊張を
緩めたんです

だから今日は
昨日みたいに我慢せずに

沢山気持ちよく
なって貰えればと…

ま…待ってくれ
そういう事なら少し
休憩を…

あ…それは
ダメです

——しまった!!
危険な薬では無いからと
油断していたが
これは…!!

実は昨日
あの後女王様に
怒られてしまいました

な…っ

勝負なら手心は
加えるなと…

だから今日は
休憩なしでいきますよ

リーシャさん
箱の中身出してもらって
いいかな

こんな刺激が休み無く
続くというのか…!!

はいっ♥



起動

びびる

なんだこれは...!?
リングが収縮しながら...
細かい凹凸が回転しながら
乳首を刺激してくる...っ



ま...まだ何かあるのか...!?

同時に色んな場所を
責めるための道具
みたいなものが



こっちの世界には
無いみたいなので
作ったんです



起動

そんな...ただでさえ
敏感なところに...
同時に...っ



クリトリスにも
着けておきますね

やめっ♡

そこはっ♡



こんなもの...
このまま続けられたら
耐えられるはずがない...っ
外さないと...

止められた...っ!?

取っちゃ
ダメですよ

念の為手足は
拘束しておきますね

僕が喚べるレベルなので
それほど強い魔物じゃ
無いですけど

僕よりは この触手の
方が強いので

そういう勝負ではないので
止めてくださいね

くつ
…
!!

イッてるのに…っ
そのままずっと
責め続けられて…
絶頂が止まらない…っ♡

$A_3 = A_2$

4¹¹
4¹²
4¹³
4¹⁴
4¹⁵

しかもこんな格好で
固定されては……
快感を逃がす事も出来ない……っ♡♡

さて…表面は
このくらいにして…

僕は奥の方を
責めていきますよ

感覺共有

それじゃあ
少し脚を拡げて貰って…

くっ…
こんな…屈辱的な…っ

しかし…抵抗したくても
快感が勝って身体に上手く
力が入らない…っ

ばっ

あれ…少しずつ
馴染ませていこうと
思っていましたけど…

なんだかもう気持ち良くな
れてそうですね

な…何を
馬鹿な事を…!!
尻穴でなど
そんな…っ

お尻に挿れて
いきますね

そうですか？

お尻に挿れていきますね

にゅん

きゅん

お尻に挿れていきますね

勝負が着くまで膣には
挿入出来ませんが…

奥の方を責めるには
お尻側からという
方法もあるんです

膣に挿入された訳でも
無いのに…っ

イツ…
ぐ…う♥♥

子宮口を直接責められているような…
先程までの比ではない深い絶頂が
きてしまう…っ♥♥

あの…
リコッタさん

まだ負けは
認めて貰えませんか？

あ…
当たり前だ!!

そうですか…
なら







ゴッ

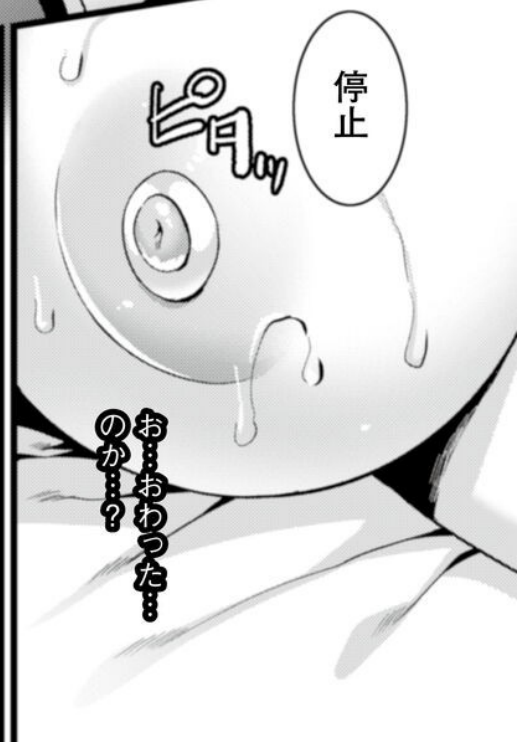
また…っ♡

ご主人様…
リコッタ様の絶頂回数が
百回を超えました

もう…
これ以上…
イキたくないっ♡♡

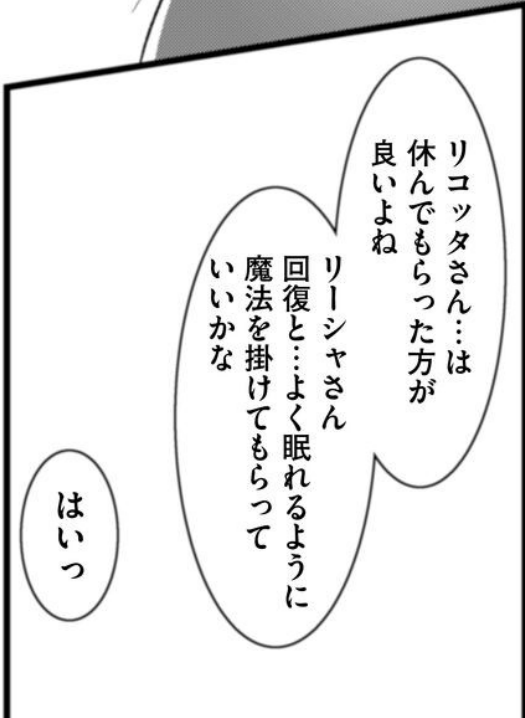
ありがとう
リーシャさん

今日はここまでに
しておこうか



停止

お…おわった…
のか…？



リコッタさん…は
休んでもらった方が
良いよね

リーシャさん
回復と…よく眠れるように
魔法を掛けてもらって
いいかな

はいっ



意識が…
遠のいて…

お疲れ様でした
ご主人様

ふん
ありがとう…

リコッタ様は昔から
ご自分より強い者に純潔を
捧げると仰っていました…

まさかここまで
頑なとは思わず…

まあ…勝負をするって
提案に流されちゃったのは
僕だしね

リコッタ様もご主人様の
素晴らしさに気付いて
くだされば良いのですが…

はは…
まあ強さはどうにも
出来ないからなんとか
他のところで…

でもこつちで覚えた
魔法とか作った道具とか
全部使ってもまだまだ…

でも…喚ばれた以上は
なんとか役目を果たしたい
から認めてもらえるように
頑張らないとね

…ご主人様

まだ一つ試していない
事が…今の段階ならば
もしかすると…

そうか…確かに
もしかしたら
いけるかも…!!

………

ようやく三日月…
今日を耐え抜けば終わる…

しかし…昨日のアレ…ないし
それ以上に耐えられるか…?

——そもそも
耐える必要があるのだろうか…

リコッタさーん
入っていいですか？

ああ…
入ってくれ

…今日は何も持ってきて
いないようだな…

おはよう
ございます

しかし油断は出来ない…
今日は何をしてくるつもりなのか…

…おはよう

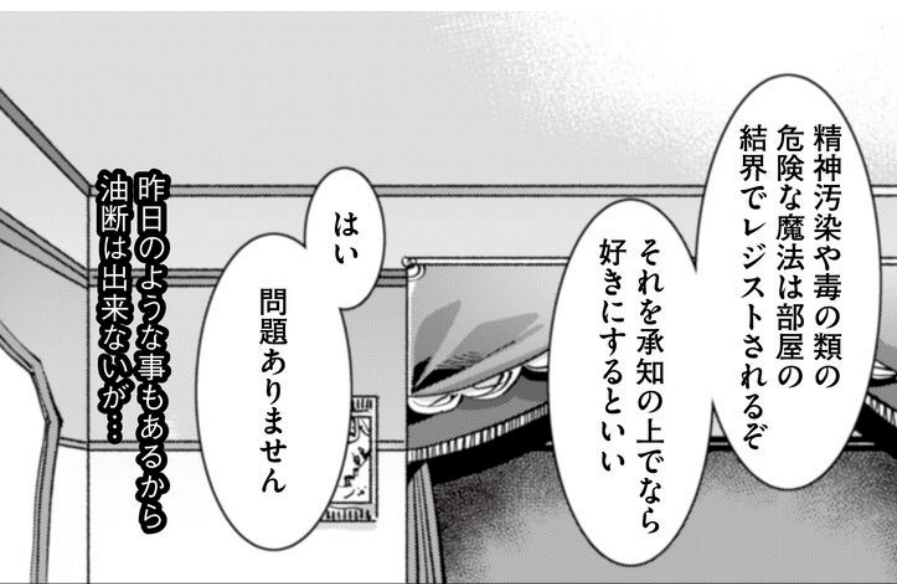
覚悟はもう
出来ている

今日何をする気かは
知らないが好きに
するといひ

あ—
いえ今日は

最初は少し
休憩していて
貰えればと

はあ!?



昨日のような事もあるから
油断は出来ないが...

問題ありません

はい

それを承知の上でなら
好きにするという

精神汚染や毒の類の
危険な魔法は部屋の
結界でレジストされるぞ



成程...
こちらが本命か...

ただ...
一つだけ魔法を
かけさせてください



全身感覚共有

!?



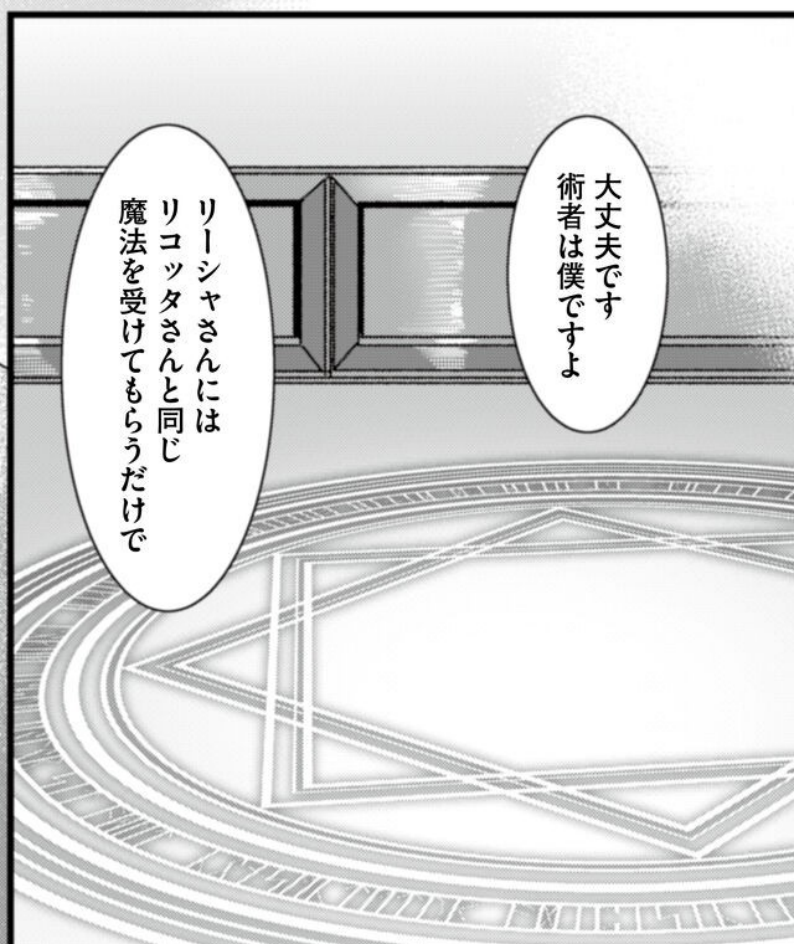
よかった

じゃあリーシャさん

はい♡

待て...!!

勝負に関する魔法の
助力は認めんぞ...



大丈夫です
術者は僕ですよ

リーシャさんには
リコッタさんと同じ
魔法を受けてもらうだけで

何か変わった様子は無いが…
一体何をしたというんだ…?



それじゃあ
リコッタさんは
しばらくそこで
休んでいてもらって…

さあっ♡
ご主人様っ♡
はやくはやくっ♡

うん

最近ずっと
お預けだったので…♡

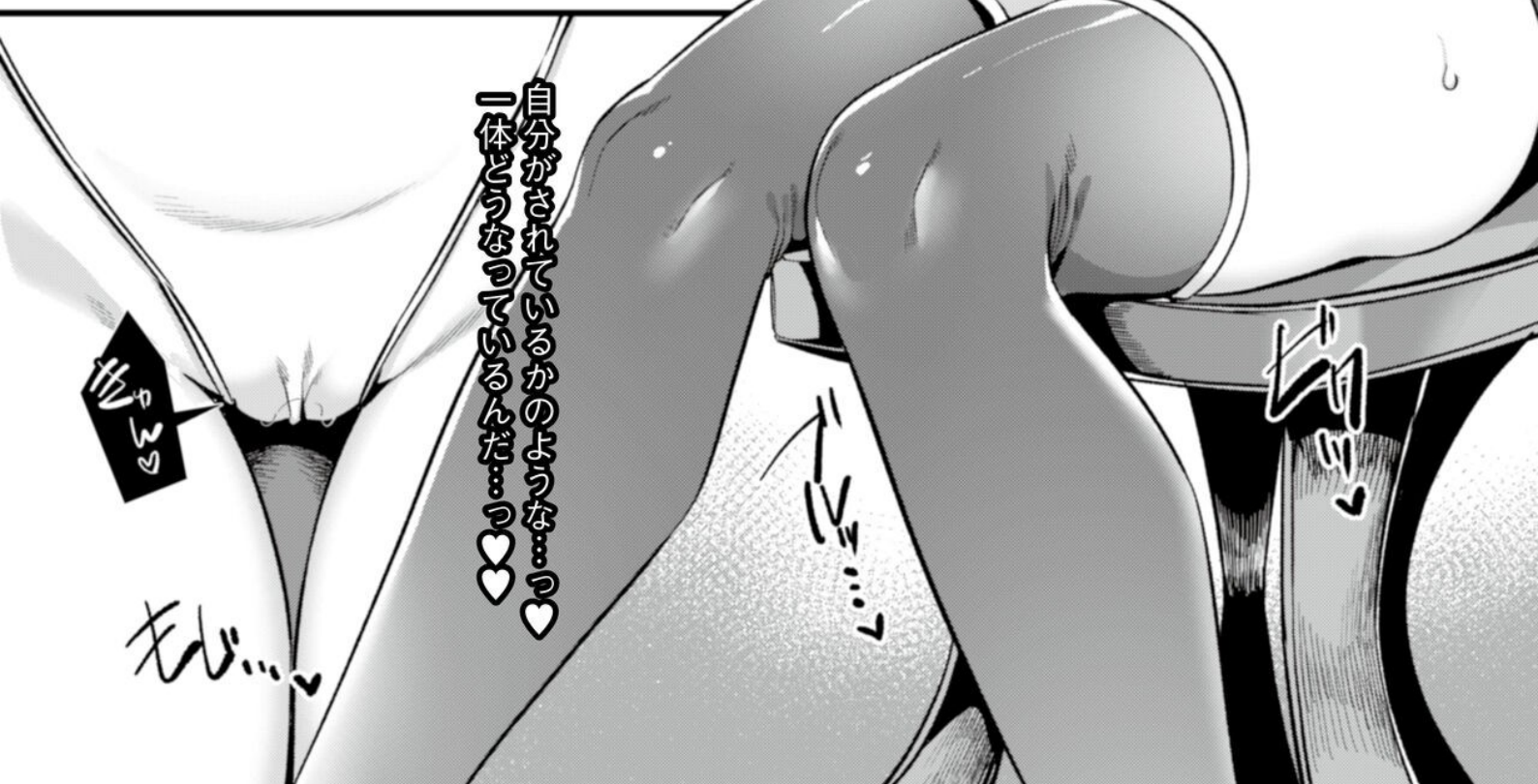
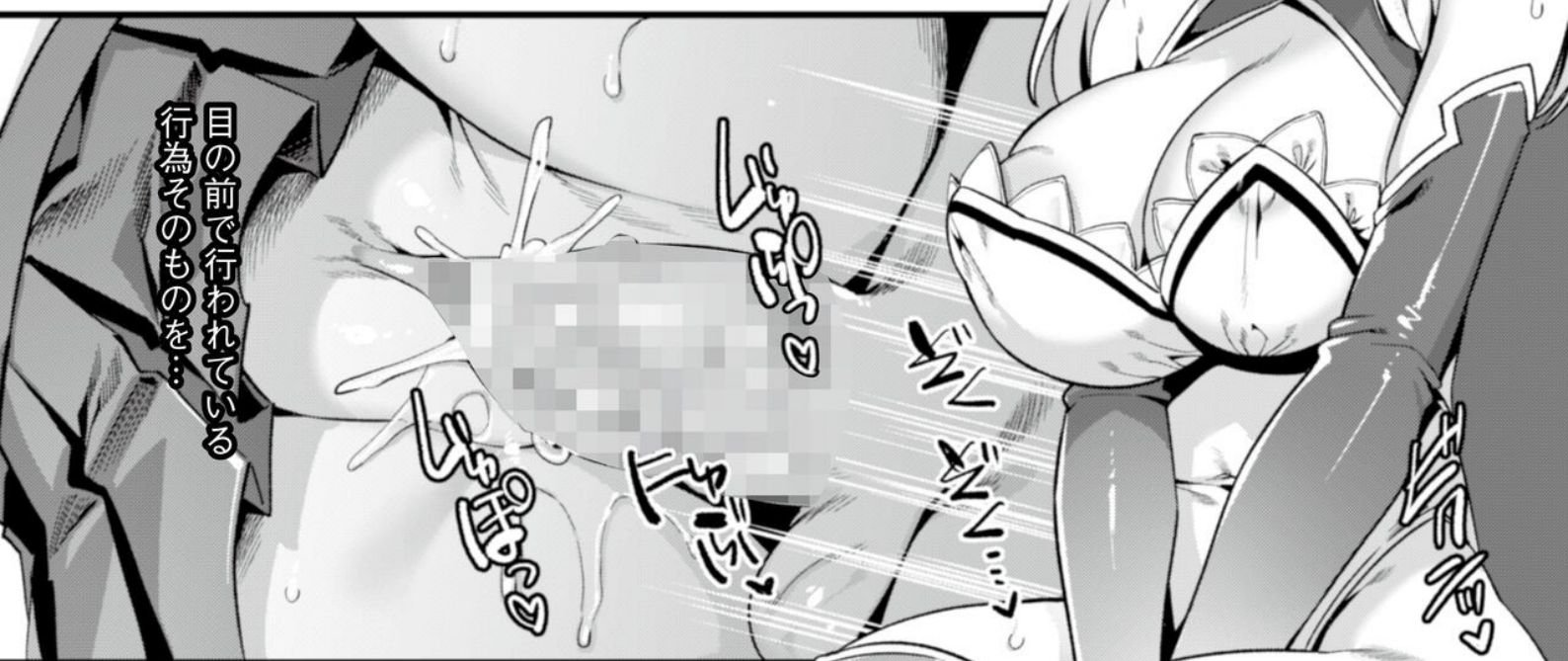


もう待ちきれ
ないです…っ♡

!?

何だ…この感じは…
嫌な予感が…







あ♡
ご主人様っ♡

そこっ♡
もっとして
くだしやいっ♡

しまった…
これは…リーシャ達の
感覚共有か…!?

うんっ♡

やっ♡

腹が押し潰されるような
圧迫感…っ♡

あ♡

なんのに…それですら
気持ちよく感じてしまうっ…っ♡

昨日の強烈な快感とは違う…
これがリーシャ達の言っていた
性行為の快感だというのか…っ

ひゃっ♡

そこはっ♡

弱いから…っ♡
だめですうっ…♡



210

4

ベニ

あ

あゝ♡

人 = 心

リーシャさん♡

ぼくも…
もう…っ♡

2000

あふあふ





っ…!?

…そう言ってもらえるなら
断る事なんて出来ませんね



あうう…♡

た…ん…

これ以上焦らすのも
かわいそうですし…



これが今から私の中に…♡

は…はいっ♡

それじゃあ
いきますね

ああ…さつきまでよりも鮮明に
感じる熱さと存在感…♡



ご…ご主人様…っ♡

わ…私の…おまんこの
一番奥まで…っ♡

おちんちん挿れて…っ♡
種付け交尾してくださいっ…♡

は…あ…♡
とろ…♡

力抜いて
くださいね

子宮口を突き上げられる程に
膣内にびつたりと挿入つて…
痛みもあるが…それが氣にならない程に
甘い痺れが…♡♡

24

トリス

th
th
th

あ……

リーシャさんの
感覚共有そのまま
だった：

終わるまで
我慢して

ええーっ!?

リコッタ様…っ
感じ過ぎ…っ
です…っ♡♡

ん
あ
あ
あ
あ
い？

動きますよ

一番奥...っ♡

気持ちいいのに呼吸が出来なくて...っ♡

頭がボーっとして...♡

あゝ♡

うん♡

[illegible]

氣持ちいいのに呼吸が
出来なくて…♡
頭がボーっとして…♡

Illustration of a stack of papers with handwritten text and heart symbols.

まっ…
んいっ♡

まっ…
んぐっ♡

そんな...♡♡

否定なし...♡♡

ちゅ♡♡



な…膣内につ♡

子宮の奥まで
ご主人様の精子…っ♡
注いでくださいっ♡♡

ご主人様との
セックスでなら…っ♡

ああああ♡

うん…っ

射精すよ…っ!!

ご主人様の熱い子種汁がっ♡♡
奥まで流れ込んできますうっ♡♡

何度でも
絶頂たい…っ♡♡





ああ♡

また…っ♡

ご主人様の
子種汁が…っ♡

奥に注いで頂くたびに
どんどん想いが強まってっ♡

っ♡

っ♡

♡

っ♡



リ…
リコッタさん…

なにも…

一日でこんなに
しなくても…

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

リーシャウグーシャが
羨まっ♡

そう思っ♡

っ♡
いめんなひゃっ♡



でもお…っ♡

ご主人様の赤ちゃん
早く欲しくて…っ♡

子宮がご主人様の子種で
孕みたがつちゃう…♡

我慢出来ない
んですうっ♡

リコッタさん…



リコッタさん…
ありがとうっ

僕も…
頑張るから…っ

僕の子供…っ
産んで下さい…っ

あ…っ♡
ご主人様…♡

はいっ♡

ぜったいっ♡



ぜったい...っ♡♡♡
孕みますからっ♡♡♡

ご主人様の子種汁っ♡♡♡
いっぱい私の膣内に
注いで
くらひやいっ♡♡♡

えええ

あーあ

あーあ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

えええ

